



各部の名称

装備の使いかた

# Fit

助手席回転シート車

オーナーズマニュアル

## 安全に関する表示

---

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。



**危険**

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至るもの



**警告**

指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの



**注意**

指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があるもの

## その他の表示

---

下記の表示を使って記載しています。

### アドバイス

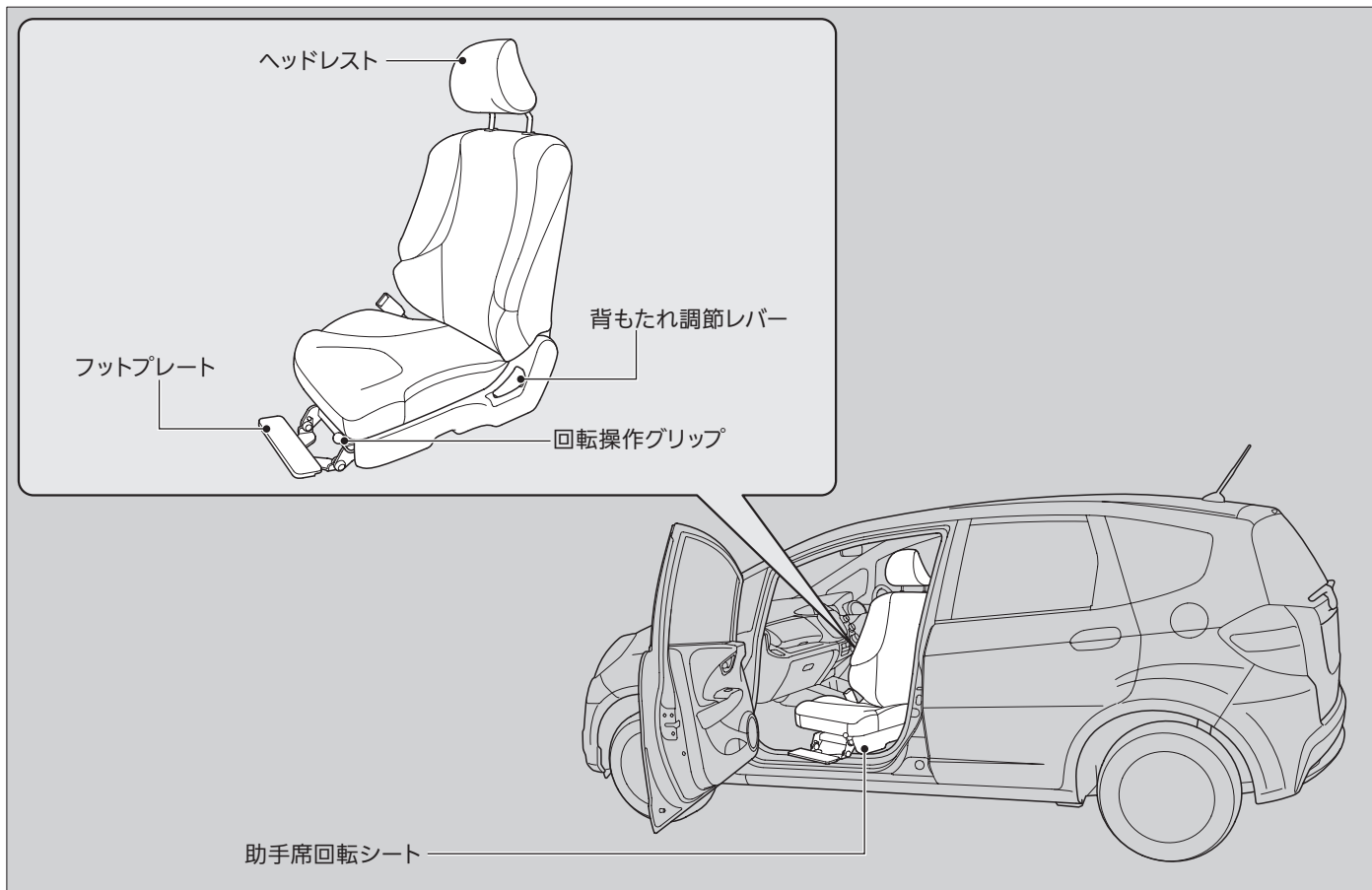
お車が故障や破損することを防ぐためのアドバイスや、環境への配慮のために守っていただきたいこと。



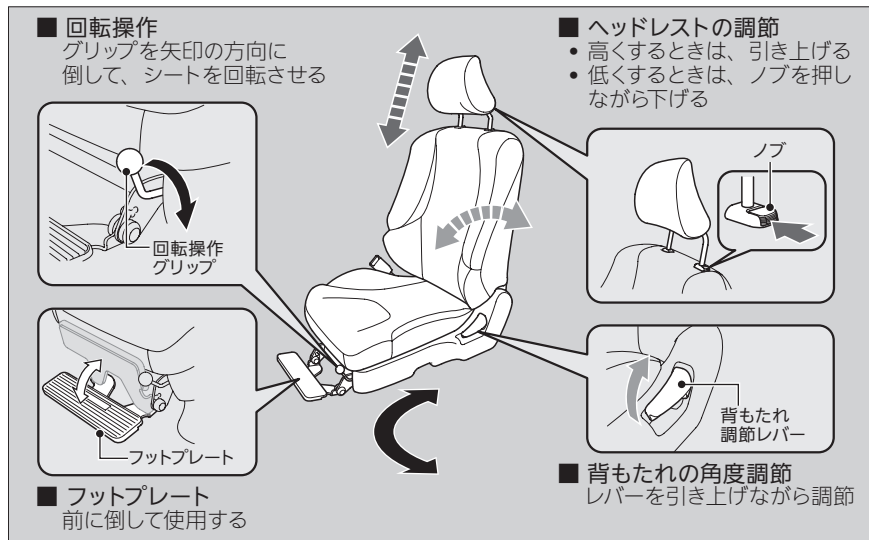
# 目次

各部の名称 .....	2
装備の使いかた	
助手席回転シートの動かしかた .....	3
シートへの乗り降り .....	5

# 各部の名称



## 助手席回転シートの動かしかた



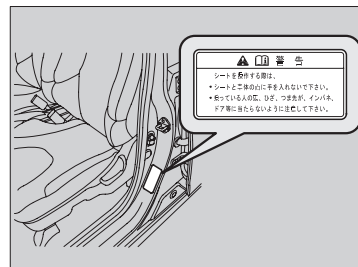
### 助手席回転シートの動かしかた



**警告**

**助手席回転の操作時は、下記のことを守る。**  
シートの操作を誤ると、重大な傷害をうけるおそれがあります。

- ・グローブボックスが閉じていること、助手席サンバイザーが格納されていることを確認する。
- ・回転操作は介助する人が行い、手、足、頭などをはさんだりぶつつけたりしないように十分注意する。
- ・お子さまには操作させない。



- ・シートを回転した状態で、車の移動はしない。

回転シートには、チャイルドシートを取り付けないでください。

## ■ 助手席回転シートヘッドレストの調節



後頭部の中心が、ヘッドレストの中心に来るようにヘッドレストの高さを調節します。

高くするとき：ヘッドレストを引き上げる

低くするとき：ノブを押しながら下げる

## ▶▶ 助手席回転シートヘッドレストの調節



**警告**

**ヘッドレストは必ず正しい位置に調節する。**

ヘッドレストの高さが適切でないと、ヘッドレストの効果が低くなり、衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

**ヘッドレストを外した状態で走行しない。**

衝突したときに重大な傷害を受けるおそれがあります。

## シートへの乗り降り

セレクトレバーが **P** のときに行えます。

パーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、助手席ドアをいっばいに開けてから、シートに付いている回転操作グリップで操作します。

平坦な場所で周囲の安全を確認して行ってください。

### ※シートへの乗り降り



#### 注意

**介助される人が背もたれの角度を調節しているときは、ドアを閉めない。**

手をはさんでけがをするおそれがあります。

**リヤシートに人が乗車しているときは、リヤシートの人のつま先や手などをはさまないように十分注意する。**

シートを回転させた状態でドアを閉めると、ドアがシートにぶつかり故障や破損の原因になります。

背もたれが倒れすぎていると、運転席と干渉してシートの回転ができなくなります。

シートを回転させた後は、シートをゆすって確実に固定されていることを確認してください。

#### アドバイス

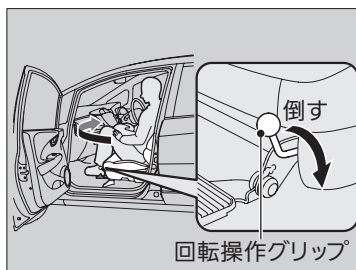
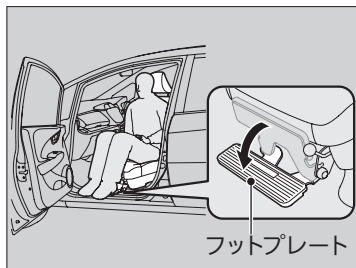
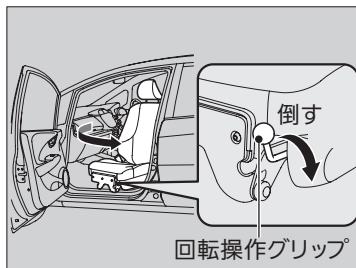
助手席回転シートに乗車可能な体重は100kgまでです。

これを超えての回転操作は、故障の原因となります。

フットプレートに体重をかけたり、ステップのかわりにしないでください。

フットプレートが破損するおそれがあります。

## 乗りかた

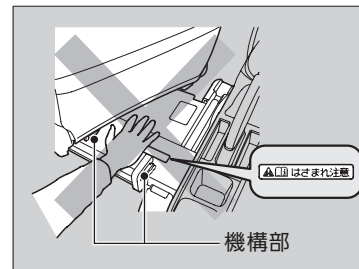
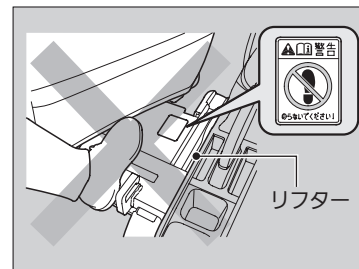


1. シートが回転できるように、背もたれの角度を調節する。
2. 回転操作グリップを矢印の方向に倒す。  
▶ 回転し始めたら、倒していたグリップを元の位置に戻し、シートがロックする位置まで回転させてください。
3. シートにすわり、フットプレートを前に倒して足を乗せる。
4. 回転操作グリップを矢印の方向に倒す。  
▶ 回転し始めたら、倒していたグリップを元の位置に戻し、シートがロックする位置まで回転させてください。

## シートへの乗り降り

### 警告

**リフター部に乗ったりものを置いたりしない。**  
**シート作動時に、機構部に近づかない。**  
はさまれたり、巻き込まれたりするおそれがあります。







5. フットプレートから足を降ろし、フットプレートを折りたたむ。
6. シートベルトを着用する。

## ■ 降りかた



1. シートベルトが外してあることを確認する。  
▶ 背もたれの角度を回転できるように調節します。
2. フットプレートを前に倒して足を乗せる。

## ※ 乗りかた

### ⚠ 注意

**シートが走行位置（格納位置）に戻らないときは、このシートを使用しない。**

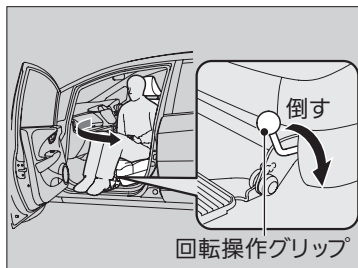
ブレーキをかけたときなどにシートが動き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フットプレートに足を乗せてシートを回転させるときに、足が車体にぶつからない位置に乗せてください。

### アドバイス

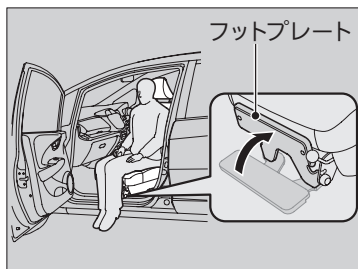
**走行中はフットプレートに足を乗せない。**

必要以上の体重がかかり、フットプレートが破損するおそれがあります。



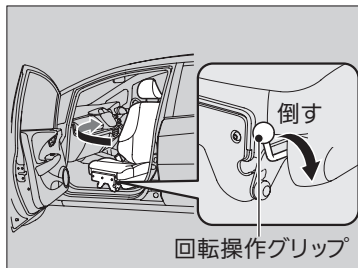
3. 回転操作グリップを矢印の方向に倒す。

- ▶ 回転し始めたら、倒していたグリップを元の位置に戻し、シートがロックする位置まで回転させます。



4. フットプレートから足を降ろし、フットプレートを折りたたむ。

5. シートから降りる。



6. 回転操作グリップを矢印の方向に倒す。

- ▶ 回転し始めたら、倒していたグリップを元の位置に戻し、シートがロックする位置まで回転させます。

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda 販売店にお気軽にご相談ください。  
下記アドレスより最新の Honda 販売店を検索することが可能です。

Honda ホームページ <http://www.honda.co.jp/>

(Honda ホームページにある検索ボックスに『販売店』と入力してください)

携帯電話からは、携帯電話用 Honda ホームページをご覧ください。

<http://dream.honda.co.jp/dealerlocator/>

※：QR コード読み取り機能付きの携帯電話をお持ちの場合は、右の QR コードをご利用ください。  
ご利用にあたっては、お持ちの携帯電話取扱説明書をご確認ください。  
QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客 様 相 談 セ ン タ ー  
でもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客 様 相 談 セ ン タ ー

フリーダイヤル 0120-112010 イイフレアイオ

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくため、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

① 車検証記載事項：車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日

② 車種名、タイプ名、走行距離 ③ ご購入年月日 ④ 販売店名

# HONDA

The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、Honda 販売店で点検整備を受けてください。

最新の Honda 販売店情報は、携帯電話からも検索できます。

(検索方法は巻末をご覧ください)

Honda ホーム  
ページにある  
検索ボックス  
に入力してく  
ださい。

<http://www.honda.co.jp/manual/>

クルマ、およびインターナビシステム取扱説明書の最新情報をお伝えしています。

30TF0R10  
00X30-TF0-R100

Y A 200.2010.09.B  
©2010 本田技研工業株式会社